

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公開番号】特開 2020-36660 (P2020-36660A)

【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-010

【出願番号】特願 2018-164082 (P2018-164082)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 23 日 (2021.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者操作によって遊技領域に向けて遊技球を発射し、該遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

遊技球の発射に関する遊技者操作が可能な発射ハンドルと、

前記発射ハンドルへの接触に基づいて特定演出を実行しうる特定演出実行手段と、

前記図柄の変動表示が行われていない状態で所定条件が成立したときに特別演出を実行しうる特別演出実行手段と、

前記発射ハンドルとは異なる特定の操作部に対して第 1 の管理者操作が行われてから電源投入されたときに、遊技に関する設定値の決定あるいは確認を行う管理モードを開始可能な管理モード開始手段と、

前記特定の操作部に対して第 2 の管理者操作が行われたときに、前記管理モードを終了可能な管理モード終了手段と、を備え、

前記管理モードにおいて、前記発射ハンドルへ接触されたときに前記特定演出が実行されないように、且つ、前記管理モード終了手段によって前記管理モードが終了される前から終了された後にかけて前記発射ハンドルへの接触が継続されているときに該継続されている発射ハンドルへの接触に基づいて前記特定演出が実行されないように構成され、

前記管理モードは前記図柄の変動表示が行われず前記特別演出が実行されないモードであり、前記管理モードが終了されたあとに前記図柄の変動表示が行われていない状態で前記所定条件が成立した場合に前記特別演出が実行されうるように構成され、

初期位置および動作位置との間で動作可能な演出部材を有し、

前記演出部材が正常に動作するか否かを確認する初期動作を実行可能な初期動作実行手段によって、該演出部材の初期動作を所定時間実行可能であって、

前記演出部材の初期動作が開始されてから前記所定時間が経過したタイミングは、前記特別演出が実行されるタイミングよりも前となるように構成され、

前記演出部材の初期動作中に所定の不具合が生じた場合には、該演出部材の初期動作にかかる時間が前記所定時間よりも長くなり得る

ことを特徴する遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

近年、パチンコ機等の遊技機には、遊技性をより多様にすべく、設定変更機能を搭載することが考えられている。こうした遊技機では、例えば、ホール管理者による設定関連操作によって、当り確率等の設定情報を複数のいずれかに設定可能としている（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開平6-91049号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、ホール管理者等による正当な作業として設定関連操作を行う際に、設定関連操作に関与しない何らかの演出（例えば、デモ演出）が行われると、正当な作業を阻害してしまう（邪魔してしまう）こと等が考えられ、こうした予期しない演出によって遊技機に対する正当な作業等に支障が生ずる虞がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、正当な作業に支障が生ずることを抑制することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技者操作によって遊技領域に向けて遊技球を発射し、該遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

遊技球の発射に関する遊技者操作が可能な発射ハンドルと、

前記発射ハンドルへの接触に基づいて特定演出を実行しうる特定演出実行手段と、

前記図柄の変動表示が行われていない状態で所定条件が成立したときに特別演出を実行

しうる特別演出実行手段と、

前記発射ハンドルとは異なる特定の操作部に対して第１の管理者操作が行われてから電源投入されたときに、遊技に関する設定値の決定あるいは確認を行う管理モードを開始可能な管理モード開始手段と、

前記特定の操作部に対して第２の管理者操作が行われたときに、前記管理モードを終了可能な管理モード終了手段と、を備え、

前記管理モードにおいて、前記発射ハンドルへ接触されたときに前記特定演出が実行されないように、且つ、前記管理モード終了手段によって前記管理モードが終了される前から終了された後にかけて前記発射ハンドルへの接触が継続されているときに該継続されている発射ハンドルへの接触に基づいて前記特定演出が実行されないように構成され、

前記管理モードは前記図柄の変動表示が行われず前記特別演出が実行されないモードであり、前記管理モードが終了されたあとに前記図柄の変動表示が行われていない状態で前記所定条件が成立した場合に前記特別演出が実行されうるように構成され、

初期位置および動作位置との間で動作可能な演出部材を有し、

前記演出部材が正常に動作するか否かを確認する初期動作を実行可能な初期動作実行手段によって、該演出部材の初期動作を所定時間実行可能であって、

前記演出部材の初期動作が開始されてから前記所定時間が経過したタイミングは、前記特別演出が実行されるタイミングよりも前となるように構成され、

前記演出部材の初期動作中に所定の不具合が生じた場合には、該演出部材の初期動作にかかる時間が前記所定時間よりも長くなり得る

ことを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

このように、本発明によれば、正当な作業に支障が生ずることを抑制することが可能な遊技機を提供することができる。